

男女共同参画に関する市民意識調査にご協力ください

横浜市では、「横浜市男女共同参画行動計画」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた施策の推進に取り組んでいます。

この調査は、「第5次横浜市男女共同参画行動計画」（令和3年度から7年度まで）の策定に向けて、男女共同参画に関する市民の皆様の考えをお伺いし、横浜市の施策をさらに進めるための基礎資料とすることを目的に実施するものです。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下でのお願いとなり大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年5月

横浜市政策局

①調査票に記入



②同封の返信用封筒

(切手不要)に入れる



③ポストに投函



令和2年6月12日(金)までにポストに投函してください

◆ご記入にあたって◆

今回、無作為に抽出した横浜市にお住まいの18歳以上の方8,000人に回答をお願いしています。調査の結果については、集計結果として公表することはありますが、すべて数値に置換え、統計的に処理した上で分析しますので、個人の名前が出ることや、他の目的に使用することは決してありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

- この調査は、あなた(あて名の方)ご自身のお考えでご記入ください。
- ご回答は、特に説明のない限り、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲んでください。
- 一部の方だけお答えいただく設問もありますので、その場合は【 】内の注意書きや矢印にしたがってお答えください。

【調査委託：お問合せ先】 株式会社CCNグループ 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4 TEL:03-6262-9537 担当：小淵、木下	【調査企画】 横浜市政策局男女共同参画推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-2035 担当：辰巳、浅野
--	---

あなた自身のことについて

F1 あなたの性別（〇は1つ）

1. 女性	2. 男性	3. 回答しない
-------	-------	----------

F2 あなたの年齢（〇は1つ）

1. 20歳未満	2. 20～24歳	3. 25～29歳
4. 30～34歳	5. 35～39歳	6. 40～44歳
7. 45～49歳	8. 50～54歳	9. 55～59歳
10. 60～64歳	11. 65～69歳	12. 70歳以上

F3 あなたの職業は次のうちどれですか。（〇は1つ）

1. 正規の社員・職員でフルタイム勤務 2. 正規の社員・職員で短時間勤務 3. パート・アルバイト 4. 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務 5. 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務 6. 会社役員・経営者 7. 自営業・家族従業（法人以外） 8. 家事専業 9. 学生 10. 無職 11. その他（ ）

※フルタイム…概ね週5日、1日8時間程度

F4 あなたは結婚（事実婚も含む）していられっしゃいますか。（〇は1つ）

1. 結婚している（配偶者やパートナーと同居） 2. 結婚している（配偶者やパートナーと同居していない） 3. 結婚（事実婚）はしていない（離婚、死別、シングル）	→ F 5 へ
---	---------

F4-1 【F4で「1. 結婚している（配偶者やパートナーと同居）」とお答えの方に伺います。】

あなたの配偶者やパートナーは、現在収入を伴う仕事をしていますか。

1. している → F 4 - 2 へ	2. していない → F 5 へ
-----------------------	--------------------

F4-2 【F4-1で「1.している」とお答えの方に伺います。】

あなたの配偶者やパートナーの職業は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 正規の社員・職員でフルタイム勤務
2. 正規の社員・職員で短時間勤務
3. パート・アルバイト
4. 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務
5. 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務
6. 会社役員・経営者
7. 自営業・家族従業（法人以外）
8. 家事専業
9. 学生
10. 無職
11. その他（ ）

F5 あなたにはお子さんがいますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 子どもはいない
2. 就学前の子どもがいる
3. 小学生の子どもがいる
4. 中学生の子どもがいる
5. 高校生以上の子どもがいる

I 男女の役割や地位に関する意識について

問1 あなたは、次のような各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)～(8) それぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2) 就職活動の場で	1	2	3	4	5	6
(3) 職場で	1	2	3	4	5	6
(4) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(5) 自治会やPTAなどの地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
(6) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(7) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(8) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6

問2 結婚、家庭について、さまざまな考え方がありますが、あなたは次の意見についてどのように思いますか。(1)～(5) それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	賛成	どちらかといえば賛成	反対	どちらかといえば反対	反対	わからない
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5	

【(1)で「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」とお答えの方に伺います。】

問2(1)-1 そう考えるのはどのような理由ですか。(○はいくつでも)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いていた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから
6. その他 ()
7. 特にない
8. わからない

【(1)で「4.どちらかといえば反対」「5.反対」とお答えの方に伺います。】

問2(1)-2 そう考えるのはどのような理由ですか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

(2) 成人したら、結婚し子どもを持つべきだ	1	2	3	4	5
(3) 夫婦は戸籍上、別々の姓を名乗っても構わない	1	2	3	4	5
(4) 結婚後、通称として旧姓使用が可能な範囲が広がる方がよい	1	2	3	4	5

問3 日常生活で、「女らしさ／男らしさ」や「女性／男性の役割」などを言われたり期待されたりすることはありますか。(〇は1つ)

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------

【問3で「1.よくある」「2.たまにある」とお答えの方に伺います。】

問3-1 どのような場で言われたり期待されたりしますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 家庭 | 2. 職場 |
| 3. 学校 | 4. 友人関係 |
| 5. 地域・近隣 | 6. 親族関係 |
| 7. 社会全体 (メディアや広告など) | 8. その他 () |

問3-2 それはどのような内容に関することですか。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 言葉づかい |
| 2. 容姿 (顔立ち、体つきなど) |
| 3. 服装や身だしなみ |
| 4. 行動の仕方 |
| 5. 感情表現 (泣く、怒るなど) |
| 6. 進学、進路選択 |
| 7. ライフイベント (結婚、出産など) |
| 8. 趣味やスポーツ |
| 9. 家事・育児・介護 |
| 10. 働き方や仕事内容 |
| 11. お金 (収入や支出に関すること) |
| 12. その他 () |

問3-3 上記について、不便さや不快感、生きづらさを感じますか。(〇は1つ)

1. よく感じる

2. たまに感じる

3. 感じない

問4 子ども時代に「女/男の子だから〇〇しなさい」「女/男の子らしく」などと言われたことがありましたか。(〇は1つ)

1. あった

2. なかった

3. 覚えていない

【問4で「1. あった」とお答えの方に伺います。】

問4-1 誰に言われましたか。(〇はいくつでも)

1. 母親

2. 父親

3. 兄弟姉妹

4. 祖母

5. 祖父

6. その他親族

7. 学校の先生

8. クラブや習い事の指導者

9. 近隣住民

10. 友人や同じ学校の児童・生徒

11. その他 ()

問4-2 それはどのような内容に関することですか。(〇はいくつでも)

1. 言葉づかい

2. 容姿(顔立ち、体つきなど)

3. 服装や身だしなみ

4. 行動の仕方

5. 感情表現(泣く、怒るなど)

6. 進学、進路選択

7. ライフイベント(結婚、出産など)

8. 趣味やスポーツ

9. 家事・育児・介護

10. 働き方や仕事内容

11. お金(収入や支出に関すること)

12. その他 ()

問4-3 子ども時代に「女/男の子らしさ」を言われたことについて、あなたの生き方に影響したと思いますか。(〇は1つ)

1. 影響した

2. 少し影響した

3. 影響しなかった

II 政治・職場における女性の活躍について

問5 世界経済フォーラムが世界各国の男女平等の度合いをランキングした 2019 年の「ジェンダー・ギャップ指数」で日本は 153 か国中 121 位と過去最低となりました。

この順位に大きく影響したのは政治分野で、先進国では最低水準となっています。

あなたは、女性政治家（閣僚・議員・都道府県知事・市町村長等）が増えることについてどう思いますか。（○は1つ）

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

【問5で「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」とお答えの方に伺います。】

問5-1 そう考えるのはどのような理由ですか。（○はいくつでも）

1. 女性の視点や母親としての声を政策に反映させることができるから
2. 政治家になることに性別は関係ないから
3. 国際的に遅れているとみなされるから
4. その他（ ）

【問5で「3. どちらかといえば反対」「4. 反対」とお答えの方に伺います。】

問5-2 そう考えるのはどのような理由ですか。（○はいくつでも）

1. 女性には負担が大きいから
2. 男性の方が適性があるから
3. 明確な理由はわからないが抵抗がある
4. その他（ ）

【問6から問8については2人以上が勤務する職場で働く方に伺います。】

問6 あなたの職場で女性の雇用や登用は進んでいると思いますか。（○は1つ）

1. 進んでいる
2. どちらかといえば進んでいる
3. あまり進んでいない
4. 進んでいない
5. わからない

問7 あなたの職場で女性の雇用や登用を進める上で、どのような課題がありますか。課題だと思われるものを選択してください。(〇はいくつでも)

- 1. 職場が男性中心の組織風土である
- 2. ワーク・ライフ・バランスに取り組む職場づくりが進んでいない
- 3. 女性を登用するためのキャリア形成支援が不十分である
- 4. 男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分である
- 5. 昇進を望んでいない女性が多い
- 6. 課題はない
- 7. その他 ()

問8 あなたは、この3年の間に職場で、セクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験がありますか。(〇は1つ)

1. 受けたことがある]

2. 受けたことはない] → 問9へ

問8-1 【問8で「1. 受けたことがある」とお答えの方に伺います。】

それはどのような行為ですか。その行為をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1. 「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた
- 2. 酒席などでお酌等を強要された
- 3. 異性との交際、結婚や出産など、プライベートなことについて不必要に聞かれた
- 4. 容姿や年齢について不必要に話題にされた
- 5. 性的な話や冗談を聞かされた
- 6. 性的な噂を立てられた
- 7. 不必要に身体を触られた
- 8. 性的な内容の手紙やメール、電話を受けた
- 9. 交際・性的な関係を強要された
- 10. 性別を理由として不本意な服装等を強制された
- 11. その他 ()

Ⅲ 仕事と家庭生活等の両立について

問9 日頃の生活の中で各活動に費やしている時間は一日のうちでどれくらいですか。(1)～(9)それぞれについてお答えください。※該当しない場合は「0」を記入してください。
(回答の合計が24時間になるようにお答えください。)

	あ 学 仕 る 校 事 日 の や	日 の や 日 休 の な い 学 日 休 い 校 ・ 日 休 事 事 事
(1) 仕事・学校（通勤・通学時間を含まない）	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	
(2) 通勤・通学時間	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	
(3) 家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(4) 育児	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(5) 介護	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(6) 地域活動※	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(7) 個人の時間（学習、趣味、友人付き合い等）	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(8) 睡眠時間	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(9) その他	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
合計（24時間になるようにご記入ください。）	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分

※「地域活動」とは、主として市内の一定の地域を基礎として当該地域の市民が主体的に行う自治会・町内会活動、社会福祉活動、青少年健全育成活動、防災・防犯活動その他の良好な地域社会の維持及び形成に資する活動のことをいいます。

問10 あなたと配偶者やパートナー（以下、配偶者等）との家事、育児、介護などの家庭で担われている役割の分担についてうかがいます。配偶者やパートナー以外の同居親族等と役割を分担している場合は、同居親族等が担う役割は除き、配偶者等との分担についてのみ回答してください。

(1) 配偶者等の有無や、家事、育児、介護などを行っている、していないに関わらず、あなたが理想とする分担をお答えください。（○は1つ）

1. 配偶者等がすべて行う
2. あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担
3. あなたが3～4割、配偶者等が6～7割を分担
4. あなたが5割、配偶者等が5割を分担
5. あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担
6. あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担
7. あなたがすべて行う

ここからは、配偶者やパートナーと同居している方に伺います。

(2) 実際には、どのように家事、育児、介護などを分担していますか（○は1つ）

1. 配偶者等がすべて行っている
2. あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担
3. あなたが3～4割、配偶者等が6～7割を分担
4. あなたが5割、配偶者等が5割を分担
5. あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担
6. あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担
7. あなたがすべて行っている

問11 あなたとあなたの配偶者等のうち男性が、育児休業を取得することについてどう思いますか。（○は1つ）

1. 賛成
2. どちらかという賛成
3. どちらかという反対
4. 反対
5. わからない

問11-1 【問11で「3. どちらか」というと反対」「4. 反対」とお答えの方に伺います。】

そう考えるのはどのような理由ですか。（〇はいくつでも）

1. 経済的に苦しくなる
2. 職場の理解が得られない
3. 仕事の評価や配属に影響する
4. 男性より女性を取るべきである
5. 地域において男性が育児に参加しにくい
6. 男性に育児のスキルが乏しい
7. 周囲に取得した男性がいない
8. その他（ ）

ここからは、全ての方に伺います。

問12 あなたは、男性が育児休業などを取ることにについて、現在、社会や企業の支援や理解は十分だと思えますか。（1）と（2）それぞれについてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

	そう思う	ある程度 そう思う	あまりそうは 思わない	そう 思わない	わからない
(1) 育児休業・休暇	1	2	3	4	5
(2) 介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問13 あなたが、この3年の間に、参加したことがある地域活動は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 自治会や町内会の活動
2. P T A 活動や青少年指導員等の青少年健全育成活動
3. 社会福祉活動
4. 防災・防犯活動
5. 1～4以外の地域活動（ ）
6. 地域活動に参加したことがない

→ 問14へ

問13-1 【問13で「6. 地域活動に参加したことがない」とお答えの方に伺います。】

参加したことがないのはどのような理由ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 関心がない | 2. 時間が取れない |
| 3. きっかけがない | 4. 情報がない |
| 5. 地域活動の存在を知らない | 6. その他（ ） |

問14 地域活動のリーダーとして、もっと女性の参画が必要だと思いませんか。(○は1つ)

1. そう思う

2. そう思わない

3. わからない

問15 あなたは今後どのような地域活動に関わっていきたいと思いませんか。(○はいくつでも)

1. 自治会や町内会の活動

2. P T A 活動や青少年指導員の活動

3. 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動

4. 高齢者や障害者の支援や交流活動

5. 子ども食堂や学習支援など、子どもの支援活動

6. 音楽やアートによる地域振興活動

7. 道路や河川、公園などの清掃活動やリサイクル活動

8. 地域の各種行事などの手伝い

9. 祭や盆踊り、運動会などのイベントへの参加者として

10. 地域活動には関わりたくない

11. わからない

12. その他 ()

IV DV（配偶者等からの暴力）について

問16 あなたは、配偶者やパートナーからの暴力について相談できる窓口を知っていますか。
次の中から知っているものに○を付けてください。（○はいくつでも）

1. 横浜市DV相談支援センター
2. 神奈川県配偶者暴力相談支援センター
3. 国の相談窓口（DV相談ナビ、DV+（プラス））
4. 警察
5. 区役所（福祉保健センター）
6. 横浜市男女共同参画センター
7. 民間の相談機関（カウンセラー、民間シェルターなど）
8. 横浜地方法務局人権擁護課（人権擁護委員）
9. その他（ ）
10. 相談できる窓口は知らない

問17 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（1）～（13）それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

	暴力にあたると思っ	暴力にあたると思っ どくらいかといえは	暴力にあたると思わな どくらいかといえは	暴力にあたると思わな
(1) 平手で打つ、足で蹴る、身体を傷つける可能性のある物で殴る	1	2	3	4
(2) 殴るふりをして脅す、刃物などを突きつけて脅す	1	2	3	4
(3) 他の異性との会話を許さない	1	2	3	4
(4) 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3	4
(5) 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3	4
(6) 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3	4
(7) 人格を否定するようなことを言う	1	2	3	4
(8) 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3	4
(9) 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4
(10) 避妊に協力しない	1	2	3	4

問18 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手から次のような行為を受けたことがありますか。（それぞれ〇は1つ）

	まったくない	1、2度あった	何度もあった
(1) 身体的暴行（殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行）	1	2	3
(2) 精神的暴力（人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり制限したりする、刃物を突きつけるなど自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫）	1	2	3
(3) 経済的暴力（家計に必要な生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わされる）	1	2	3
(4) 性的暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しない）	1	2	3

問18で「1、2度あった」「何度もあった」に1つでも〇が付いた方は、
問18-1 以降をお答えください。

すべて「まったくない」と回答した方は、15 ページの問19までお進みください。

問18-1 【問18 でいずれかの行為を受けたことがある方に伺います。】

あなたがそのような行為を受けたのは、いつですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 中学・高校在学中 | 2. 専門学校・大学在学中 |
| 3. 卒業後 | 4. 結婚（同居・同棲）後 |
| 5. 妊娠中（配偶者やパートナーの妊娠中を含む） | 6. 出産後（配偶者やパートナーの出産後を含む） |
| 7. 別居・離婚前後 | 8. その他（ ） |

問18-2 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手からそのような行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 相談した | → 問18-3 へ |
| 2. 相談しなかった | → 問18-4 へ |

問18-3 【問18-2で「1.相談した」と回答の方に伺います。】

どこに、または誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

1. 横浜市DV相談支援センター
2. 神奈川県配偶者暴力相談支援センター
3. 国の相談窓口 (DV相談ナビ、DV+ (プラス))
4. 警察
5. 区役所 (福祉保健センター)
6. 横浜市男女共同参画センター
7. 民生委員・児童委員
8. 学校・教育関係者 (教員、養護教員、スクールカウンセラー、教育相談)
9. 児童相談所
10. 司法の専門家や専門機関 (弁護士、法テラスなど)
11. 民間の相談機関 (カウンセラー、民間シェルターなど)
12. 横浜地方法務局人権擁護課 (人権擁護委員)
13. 医療関係者 (医師、看護師、病院のケースワーカーなど)
14. 家族や親戚
15. 友人・知人・職場の同僚・上司
16. 横浜市以外の自治体の相談窓口
17. その他 ()

問18-4 【問18-2で「2.相談しなかった」と回答の方に伺います。】

どこ(誰)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

1. どこ(誰)に相談して良いのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことが相手にわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
6. 自分にも悪いところがあると思ったから
7. 相談するほどのことではないと思ったから
8. その他 ()

問19 あなたは、これまでに配偶者やパートナー、交際相手に対して次のような行為をしたことがありますか。（それぞれ〇は1つ）

	まったく ない	1、 2度あ った	何 度もあ った
(1) 身体的暴行（殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行）	1	2	3
(2) 精神的暴力（人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり制限したりする、刃物を突きつけるなど自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫）	1	2	3
(3) 経済的暴力（家計に必要な生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わされる）	1	2	3
(4) 性的暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しない）	1	2	3

問19-1 【問19 でいずれかの行為をしたことがある方に伺います。】

あなたがそのような行為をしたのは、いつですか。（〇はいくつでも）

1. 中学・高校在学中	2. 専門学校・大学在学中
3. 卒業後	4. 結婚（同居・同棲）後
5. 妊娠中（配偶者やパートナーの妊娠中を含む）	6. 出産後（配偶者やパートナーの出産後を含む）
7. 別居・離婚前後	8. その他（ ）

問20 配偶者やパートナーから暴力の被害を受けた方が、暴力についての相談をしやすくするためには、どんな相談体制が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 相談窓口や利用できる支援について、もっとPRする
2. 相談窓口の対応時間を延ばす
3. 夜間や休日の緊急の対応を充実させる
4. 法律や医療の専門相談を受けられるようにする
5. メールやSNSによる相談ができるようにする
6. 安全でプライバシーの確保された場所で相談できるようにする
7. 同性の担当者を配置する
8. 相談員や支援関係者が、この問題についての知識や理解を深めるよう、研修や教育を充実させる
9. 多言語での相談ができるようにする
10. その他（ ）

V 男女共同参画について

問21 あなたは、男女共同参画社会※の実現に向けて、横浜市が重点をおいて取り組むべきと思うものは、どのようなことですか。（〇はいくつでも）

※男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に参画できる社会（男女共同参画社会基本法抜粋）

1. 出産や子育てで離職した女性の再就職を支援する取組
2. 企業や団体において女性の管理職やリーダーを育成するための取組
3. 多様で柔軟な働き方（テレワークや在宅勤務、フレックスタイム制など）や仕事と育児・介護との両立支援の推進に向けた企業への働きかけ
4. 男性の育児休暇・休業の取得促進に向けた企業への働きかけ
5. 保育所や小学生の放課後の居場所など、子育てしながら働くための環境整備
6. 市役所自らの、学校教職員を含む職員の働き方改革に関する積極的な取組
7. 配偶者やパートナー間の暴力（DV）や性犯罪・性暴力などを無くすための取組
8. 経済的に不安定な若年無業・非正規雇用の女性やひとり親家庭への支援
9. 産前産後支援や女性特有のがん対策など、ライフステージに応じた女性の健康支援
10. L G B Tなど性的少数者への支援と理解促進
11. 男性が家事・育児に積極的に関わる機会づくり
12. 地域防災活動における女性の担い手増と、女性の視点を盛り込んだ防災対策の充実
13. 「女（の子）らしさ」「男（の子）らしさ」ととらわれず、自分らしく生きるための教育の充実
14. 男女共同参画やジェンダー、性について理解を深めるための広報や学習機会の充実
15. その他（)

問22 男女共同参画についてのご意見をお書きください。



問23 配偶者やパートナーからの暴力の根絶と被害者への支援について、ご意見があればお書きください。



アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は同封の返信用封筒に入れポストに投函してください。

意識調査のよくあるご質問

◆個人情報の取扱いについて

1 調査票が自分に届いたのはなぜですか？

→ 今回の調査にご協力をお願いしているのは、横浜市にお住まいの18歳以上の方8,000人です。住民基本台帳から無作為に抽出させていただいて選ばれた皆様に、調査票をお送りしています。

2 回答することで自分の情報が漏えいすることはありませんか？

→ 調査票には「質問に対する回答」と「性別や年代など分析に必要な項目」のみを記入していただきます。調査票を返送することで、個人が特定されることはありません。調査票や返信用封筒には、名前や住所などの情報は一切書かずにご返送ください。

◆その他について

3 回答した結果はどう使うのですか？

→ いただいた回答は、すべて数値に置き換え、統計的に処理した上で、横浜市民の皆様を意識状況として集計結果を公表いたします。調査からわかる市民の皆様の考えを、今後の横浜市の施策に役立ててまいります。

4 回答しなくてもいいですか？

→ 今回の調査は任意でご協力いただくものですが、より充実した意識調査とするために1人でも多くの方にご回答いただきたいと思いますと考えております。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

5 いつまでに何を送ればいいですか。

→ この調査票のみを同封の返信用封筒に入れ、6月12日（金）までにお近くの郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。